

はじめに

背景及び趣旨

クリーンランドにおいては、平成24年度(2012年度)からリサイクルプラザ(愛称：豊中伊丹スリーR・センター)の稼働に併せて、さらなる3Rの推進を図るための環境学習を展開していく。そこで、環境に対する意識を高め、環境に配慮した行動の考え方、方向性を示すことを目的に「豊中市伊丹市クリーンランド環境学習基本方針」を策定する。

第1章 環境学習をめぐる状況

両市の取組み

《豊中市》

- ・平成7年(1995年)10月 「豊中市環境基本条例」制定
- ・平成11年(1999年)3月 「豊中市環境基本計画」策定
- ・平成23年(2011年)2月 「第2次豊中市環境基本計画」策定

《伊丹市》

- ・平成15年(2003年)3月 「伊丹市環境基本条例」制定
- ・平成16年(2004年)3月 「伊丹市環境基本計画」策定
- ・平成23年(2011年)3月 「伊丹市環境基本計画(第2次)」策定

クリーンランドの取組み

「ごみ処理」という市民生活の基盤を支える業務を通して市民とのつながりを深めていくことが大切であるとの視点から、共に学び、共に育つ関係を築き上げるよう努めている。その中で市民の「ごみ処理」に対する理解度を高め、①ごみ処理を通して3Rを推進する、②様々なイベントにおいて市民との交流を深める、③市民の視点に立ち市民との協働関係を深めるなどの環境啓発活動に取り組んでいる。

今後は

市民・NPOとともに協働の理念に基づき、豊中市及び伊丹市における循環型社会形成の推進に貢献するために、豊中伊丹スリーR・センターを整備し、独自の環境学習機能を提供することにより、『循環型社会推進の拠点』となることをめざしていく。

＜施設見学実績＞

平成20年度 (123件 6,482名)

※両市市民、小学校、自治会など

平成21年度 (129件 6,588名)

平成22年度 (132件 6,626名)

＜出前講座実績＞

平成20年度 (2件 639名)

※両市保育所(園)、小学校、自治会など

平成21年度 (6件 735名)

平成22年度 (15件 997名)

＜リユースコーナー実績＞

平成20年度 (展示数71点 応募者253名)

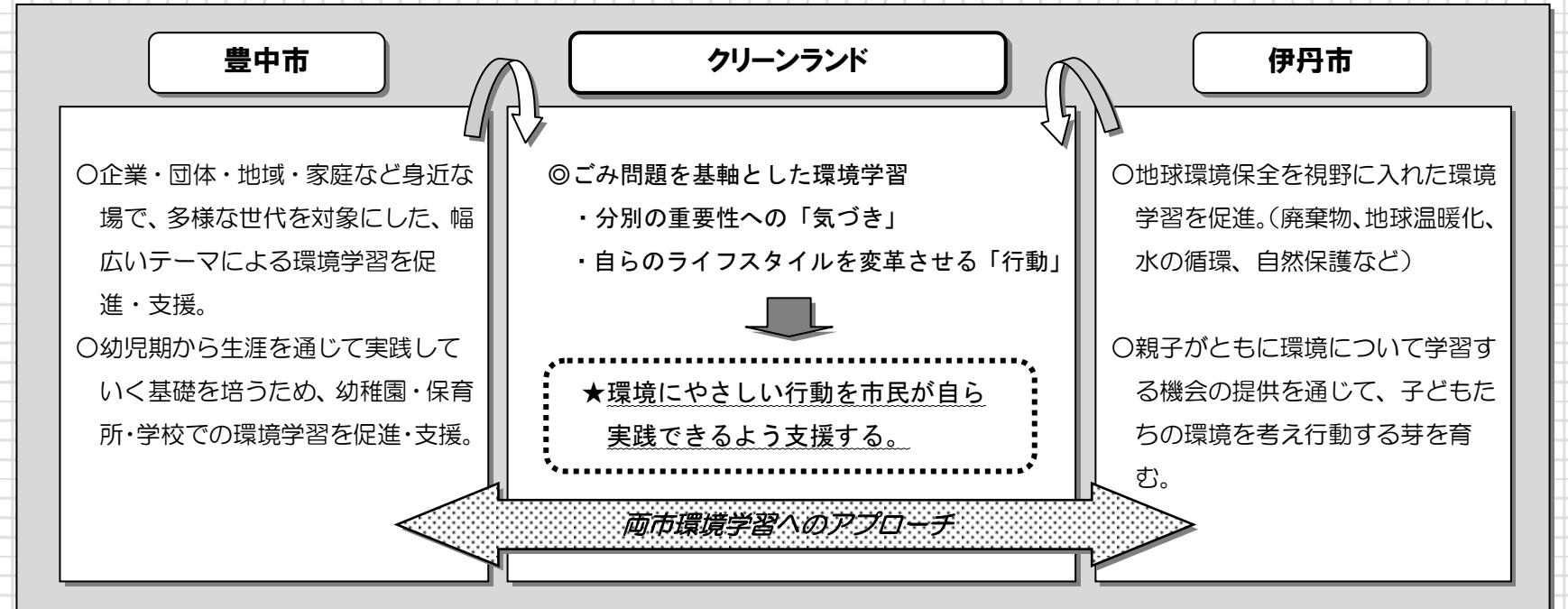
平成21年度 (128点 476名)

平成22年度 (108点 358名)

第2章 環境学習のめざす方向

クリーンランドの役割

ごみ問題を基軸とした環境学習。とりわけ「分別」の重要性に「気づき」、自らのライフスタイルを変革させる「行動」に結び付けるための“学習の場”となることをめざす。



第3章 環境学習の進め方

